

令和3年度 ピアサポーター 紹介

新

任

YOSHIO ピア通信

第3号

皆さま、こんにちは。日差しも強く気温も高くなって、初夏の陽気を感じる時期になりました。昨年の秋から今年の春にかけて、半年間の学習会を終えた7名が、新たにピアサポーターとして加わりました。現任6名と合わせると総勢13名の個性豊かで多才なピアサポーター達が活動を開始しています。(令和3年6月14日現在、10名が活動中) 思い思いの熱意を持った、『ぱれっと・はだのピアサポーター』を今号は紹介していきますので、最後までご覧ください。

日下

統合失調症を発症し11年になります。現在は、パートでデイサービスに勤務しています。ピアサポーターになりたいと思ったきっかけは、「秦野市障害福祉ガイドブック」を読んで少しでも病の軽減を図りたいと思ったことです。皆様の声を届けるような活動を支援したいとの思いがあるので、その手伝いできればと思います。

小原

ピアサポーターになった理由は、自分が病気を経験して学んだことや気づいた事を今苦しんでいる人達に伝えて、苦しんでいる人達が少しでも前向きになってほしいと考えているからです。同時に自分も苦しんでいる人から何かを学ぶことができると考えています。(今は統合失調症)

ののさん

ピアサポーターになったきっかけは、3年前ぱれっとで開催されている相談会に自分自身のことについて相談し、その時ピアサポーターという活動を知ったことです。病気や特性について同じ悩みを持っている人がいることがわかり、仲間と思いを共有できる場を作りたいと思っています。

ピアサポーター活動でやりたいことは、①病気や障害を持ちながら仕事をしている方との茶話会②発達障害(グレーゾーンを含む)がある方との茶話会です。

市橋

「病気の悩みをじっくり聞いて欲しい。」そう思い、ピア相談会でピアサポーターに話を聞いてもらいました。仲間(ピア)だから話せる事に気付き、心が楽になりました。この経験を通じてピア活動に参加を決意。悩み苦しむ人に少しでも元気になって欲しい!!という熱い思いを胸に活動します。

高橋

ピアサポーターになりたいと思ったきっかけは、カウンセラーさんのように話を聴いて、人の心を癒したいと思ったためです。よろしくお願いします。

9.11(土)ボイスピア開催決定!! (オンライン・ズーム)



ピア活動 = なかま

幸来人(こうらいと)

私は今年でピア活動を終了します。つきましては色々とお世話になり、ありがとうございました。今後は親の介護に没頭したいと思います。今後もピアサポーターを支援し、支援されたいと思います。

飯田

私がピア活動に参加した当初は、市外の方も含め20名ほど参加していたが、市の方針で市内のみになってからは4名ほどになりました(約8年)。活動内容は、みくるべ病院訪問とピア相談会とピアのつどいです。後は市外のピアサポーターからの依頼で東京医科歯科大学や国際医療福祉大学へ体験発表しています。趣味は約32年続けているパソコンとウォーキング(作業所終わり駅から自宅まで)です。

現

任



作者:二宮

速見

趣味で俳句をはじめました。一日一句を目標に頑張っています。では、一句。

『夏雲やシロップかけて食べたいな』

二宮

人生を楽しもうとこの障害を最大限に活かし、幻聴と幻視によって、より多くのこの世界の不思議さを理解し、人生を果敢に解き明かし、社会に発信し、寄与すると共に、芸術的生き方をより多くの人へ示したい!!

綾部

普段単独行動が多い僕ですが、ピア活動の組織にいても楽しいです。皆が主体的に参加して、ピア活動を手作りしていく感じが、特に嬉しくなります。また、ぱれっと・はだのの居心地の良さも好きですね。

編集後記

主に精神障害を持った方々に、自分らしくいられる場所がある。生きることに向き合っている仲間がいる。という事をもっと多くの方々に知ってほしいとの思いで、ピアサポーター達の力を結集して作成しました。最後までお読みくださり、どうもありがとうございました。

編集者:新任ピアサポーター 市橋

みんなでゆるく集まり、日頃のいろんな悩みを話したり、聞いたりできます。参加してみると意外な発見があり、きっと元気になれますよ!! 気になった方は右の番号にお電話を⇒

ピア相談会

参加者募集中

お問い合わせ先

秦野市地域生活支援センター ぱれっと・はだの

0463-80-3294